



これは、君の記憶だろうか…。
幾つもの風景や、生き物が、現れては消えていく。
そして、今日もあの人がやって来る。

これは、私の記憶。
怪しい世界に迷い込み、私は、夢の中でだけ、
あなたに逢える…。
いつか、この記憶も色あせていくだろう…。
やがて、私の記憶か、あなたの記憶か、判断
出来なくなっていく…。でも、私は待っている。

私とあなたが、一緒になれるその日まで。